

ジャパン・コスメティックセンター設立趣意書

産業発展と環境保全の両立は、世界全体が直面している課題であり、持続可能な地域社会の創造のためには、多様な人材の交流と技術の集積による地域資源を活かした環境にやさしいビジネスの創出とグローバル市場への展開が求められています。

九州北部に位置する佐賀県は、我が国で東アジアに最も近く、北は雄々しい玄界灘に面し、上場台地や佐賀平野といった全国に誇れる豊かな自然を有しています。

県西北部の唐津市や玄海町は、豊かな地域環境を活かした食物や薬草の栽培が行われてきた地域であり、大学と連携した研究も盛んです。

また、県内では伝統的に生薬を用いた医薬品産業が地場産業として独自の発展を遂げてきたほか、近年、唐津市内に複数のコスメティック関連企業が立地しています。

特に、フランス共和国のコスメティックバレー協会においては、豊富な農林水産物や化粧品産業の基盤などを有する本地域を、成長著しいアジア市場への戦略拠点とすることを目指して、2013年4月に唐津市との間で協力連携協定を締結するに至りました。

私たちは、こうした状況を絶好の成長機会ととらえ、化粧品分野のビジネス環境を産学官により整備し、フランスをはじめとする海外の団体・企業とのビジネス交流、アジア市場を中心とするグローバルな市場展開、さらには天然由来の原料研究と高品質の製品開発に積極的に取り組むことにより、唐津市、玄海町を中心とした佐賀県、ひいては北部九州におけるコスメティック産業の集積と雇用の創出を目指します。

「人と環境にやさしく 地域資源と優れた技術を活かした 国際的コスメティッククラスターの創造」を理念とする唐津コスメティック構想を実現するため、関連企業、生産者、大学等の研究機関、行政及び経済団体等の支援機関で構成されるジャパン・コスメティックセンター「JCC」を設立するものです。

2013年11月11日